

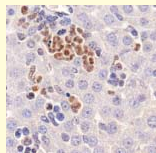


New
抗体
細胞骨格 オートファジー

細胞骨格関連抗体

MEMO LC3

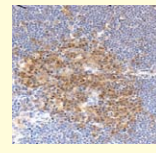
LC3 は、Microtubule associated protein 1 (MAP1) Light Chain 3 として同定された因子です。LC3 は MAP1A および MAP1B 両方の微小管結合ドメインの構成要素で、MAP1 の微小管結合特性に関与している可能性が示唆されています。LC3-II は、オートファゴソーム膜に結合するタンパク質として哺乳類で初めて単離されたもので、自己貪食空胞画分に局在していることから、近年ではオートファジーにも関与していることが示されています。



試料：マウス肝臓切片
抗体：抗 LC3 抗体 (#NBP1-19167)

MEMO プロフィリン

プロフィリンは、シグナル伝達経路とアクチンフィラメント動態に働いているポリ- α -プロリン結合タンパク質です。プロフィリン I は骨格筋を除くほとんどの組織で強く発現しています。一方、プロフィリン II は主に脳で発現している他、骨格筋、子宮、腎臓でも弱く発現しています。細胞レベルでは、プロフィリンの大部分は細胞質中に存在し、細胞膜の突起やヒダを形成しているような動きの激しい部位に高濃度に局在しています。



試料：マウス胸腺切片
抗体：抗 Profilin 抗体 (#NBP1-19344)

	品名	抗原種	免疫動物 (クローン)	標識	適用	メーカー	商品コード	包装	価格 (¥)
New	Anti-LC3	Human	Rabbit-Poly	—	IHC, West	NOV	NBP1-19167SS NBP1-19167	0.025 ml 0.1 ml	32,000 72,000
	性状：APu, 交差性：Human/Mouse								
New	Anti-Profilin	Human	Rabbit-Poly	—	IHC, West	NOV	NBP1-19344SS NBP1-19344	0.025 ml 0.1 ml	32,000 72,000
	性状：APu, 交差性：Human/Mouse								



New
抗体
腫瘍マーカー 免疫染色

そのまま使用できる希釈済み抗体/カクテル

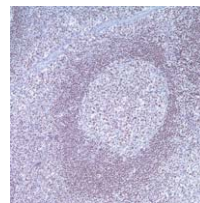
免疫組織染色用希釈済み抗体

MEMO FOXP1/Mammaglobin/MUM1

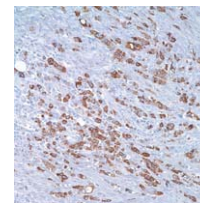
FOXP1 はリンパ系細胞に発現がみられる転写因子で、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫等のリンパ腫/白血病のマーカーとして知られています。

Mammaglobin は乳腺関連糖タンパク質の 1 つで、感度の高い乳癌マーカーとして知られており、また癌転移病巣の乳腺由来を確認する用途にも使用されます。

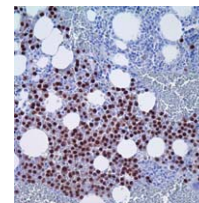
MUM1 は形質細胞、活性化 T 細胞および胚中心 B 細胞の一部に発現がみられる転写因子で、血液リンパ系腫瘍のマーカーとして知られています。



抗 FOXP1 抗体 (#MON-RTU1218) を用いた、ヒト扁桃 (ホルマリン固定パラフィン包埋) の免疫染色像。



抗 Mammaglobin 抗体 (#MON-RTU1216) を用いた、ヒト乳癌組織 (ホルマリン固定パラフィン包埋) の免疫染色像。



抗 MUM1 抗体 (#MON-RTU1217) を用いた、ヒトミエローム組織 (ホルマリン固定パラフィン包埋) の免疫染色像。

	品名	抗原種	免疫動物 (クローン)	標識	適用	メーカー	商品コード	包装	価格 (¥)
New	Anti-FOXP1, Ready to Use		Rabbit-Poly	—	IHC	SAN	MON-RTU1218	7 ml	86,000
	組織染色用に調製済み。								
New	Anti-Mammaglobin, Ready to Use		Mouse-Mono/ Rabbit-Mono	—	IHC	SAN	MON-RTU1216	7 ml	80,000
	組織染色用に調製済み。								
New	Anti-MUM1, Ready to Use		Mouse-Mono	—	IHC	SAN	MON-RTU1217	7 ml	59,000
	組織染色用に調製済み。								